

八雲

第51号
(平成26年9月発行)

大東高校校歌

一、勝田の森の奥深く

文の林に分け入りて
学びの花を摘まんなか
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし

二、夕影たかく秋深き

織部の山に風かよふ
かの夕づつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手をとりにていざ共に哭け

三、理想の洋は遥かなり

真理の道の遠ければ
あゝカルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす

四、東天高く曙の

光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



ふるきもたずね、若人に声援を

八雲会会長 安原重隆

今年度の総会で新しく会長に就任することになりました。よろしくお願いたします。前会長 景山純孝氏の今日までのご努力に敬意を表し感謝を申し上げます。

八雲会の意味は、「相互の親睦」「母校の発展」のため「会報発行」「親睦会」「母校への援助」などを行うことであり、それらは歴代役員の方の努力と会員の協力により堅実に実行されてきました。

卒業生会誌「八雲」は昨年第50号が発行されており、これまでそこには各支部の状況や高校の現状、会員の思い出や人生観的なものの寄稿もあり、「八雲会健在なり」の感を強くします。

この「八雲」第1号は、昭和37年に発行されていますが、それは「八雲」の復刊号であり、実は農学校時代に校友会誌「八雲」がすでに発行されていました。その終刊号（昭和5年3月発行）を私は農学校第1期生で金成の恩田秋雄氏から直接見せてもらったことがあります。

昭和36年に校舎の大改築と開校40周年記念式典が行われ、翌年復刊第1号発行の運びとなり、当時卒業生会幹事で大東高校の山田謙三先生が、その編集を私に依頼され、大東高校新聞班の協力を得て編集に携わりました。

そこには、農学校卒の角谷勇二氏の八雲の復刊に寄せて、加茂の加藤義成氏の校友会誌「八雲」への郷愁と祈り、金成の恩田秋雄氏の八雲の復刊を祝して、等の一文が掲載され、農学校時代の思い出等がひしひしと綴られています。そして戦争・戦後の空白期間とも称する時代があり、卒業生会も休眠の姿であったと記されています。

農学校は、大正8年に創立され、女学校は昭和4年に、高等学校は昭和23年に開校されています。

現代に目を移してみますと、大東高校生諸君やその卒業生を含む若い人たちがスポーツ・文化等各方面で活躍されており、能力もすごく向上していることに気づきます。それらを見聞するにつけ、自分も今一度奮起したいなどと思いますが、現実の年齢を考えるとどうにもならない。そこで思うことは若い人たちにすべてを委ね期待しよう、ということでもあります。

卒業生会として大東高校の生徒諸君の洋々たる前途に絶大なる声援を送ろうではないかということに落ち着きます。

本会及び各支部の役員の方の皆さま、会員の皆さま、卒業生会運営にぜひともご尽力いただきますようお願い申し上げます。



10年間ありがとうございました

八雲会前会長 景山純孝

八雲会会員の皆様には、全国のそれぞれの地でご健勝でお過ごしのことと拝察します。今夏は台風11号、12号により連日の大雨で大きな災害があちこちで生じました。その後も停滞前線が日本列島に居座り、長雨のために農作物への影響が心配されます。

平成26年7月大東交流センターで行われた八雲会総会で、会長の退任を了承して頂きました。丁度10年前雲南市への合併の会議中に、当時の役員選考委員の方から副会長を受けるよう電話があり、それより6年後に4年間会長を受け、併せて10年八雲会のお世話をさせて頂きました。その間各支部総会に参加しました。

関東支部では、支部長、事務局長共に30数年その任にあたられ、若い方々に交代されました。私が現職のとき春高バレーで代々木の体育館に行きますと、応援団を出されており感激しました。心

から感謝した次第です。

関西支部では、しばらく活動が中断していましたが、多くの方々の努力で盛大に総会が開催されるようになりました。厳しかった応援歌練習風景が飛び出したりして盛り上がりました。昨年は2月開催で大雪のため列車が2時間以上遅れ、会の中途に参加することになりご迷惑をおかけしました。

広島支部では、30年弱務められた支部長が若い方に交代されました。いつも熱心に支部運営にあたられ感謝しました。

松江支部総会に、今年久方ぶりに参加しました。よく存じているたくさんの先輩の皆様にお会いでき有難うございました。

地元の支部活動は熱心に行われていますが、昨年久しく活動停止していた佐世支部が復活し、発会式が行われました。地元出身の福島県石川町町長加納氏の講演があり、単身で福島県に行き町長

になられたそれまでのご苦労に頭が下がりました。
平成30年は、創立100周年の年です。皆さんの力

で立派な周年行事ができますようお願いしています。
10年間に難うございました。



八雲会会員の皆様へ

校長 奥井 彰

中国地方では、梅雨明け宣言が例年並みの7月下旬にありましたが、実際にはそれより早く夏がやってきており、うだるような真夏日、猛暑日が続いております。暑い最中ですが、八雲会会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

皆様方には平素より、本校の教育活動に物心ともにご支援、ご協力を賜っておりますこと衷心より厚くお礼を申し上げます。

今年も、6月28日の八雲会関東支部会を皮切りに、松江支部会（教頭出席）、広島支部会とお邪魔させていただきました。会員の皆様方の母校に対する熱い思いに触れるたびに、大東高校の発展に寄与すべく精進しなければならないと意を新たに致しました。

皆様方の熱い思いの中でも、今年最も大きな関心事は野球部の甲子園出場に寄せる期待感でした。

昨年の12月に、春の選抜高校野球21世紀枠の候補校9校に入った時点で甲子園初出場の期待感が膨らみました。しかし残念ながら、1月下旬に発表された最後の3校には選抜されず、甲子園出場の切符は夏以降に持ち越されました。春の甲子園出場は逃したものの、選手たちは冬場から春にかけて選抜大会を想定した高いモチベーションで練習しておりましたので、その成果が春の県大会2位という好結果に繋がりました。

迎えた夏の大会は第3シードとして登場し、順当にベスト4まで勝ち上がりました。準決勝は終業式の日と重なりましたので、式を練り上げて全校応援態勢で臨みました。試合は序盤から激しい点の取り合いとなり、逆転に次ぐ逆転の末、宿敵開星高校に11対12で惜敗しました。試合には敗れましたが、熱射病で倒れるほどの過酷な条件の下、生徒や保護者、地域の皆様方の大声援を受けて、選手たちは最後の最後まで勝利への執念を見せてくれました。本校の選手だけでなく、開星の選手も、そして球場やテレビの前で応援したすべての人が“感動”した素晴らしい試合でした。

残念ながらこの夏は、甲子園出場を待ち望みご声援いただきました皆様方のご期待に応えられませんでした。指導者や選手は常に高い意識を持って練習に取り組んでおりますので、近い将来必ず甲子園出場を勝ち取ってくれるものと確信し

ております。

野球部の話題が長くなってしまいましたが、その他の学校の様子についてお話いたします。この3月には卒業生112名を送り出し、皆様方のお仲間に入れていただきました。入れ替わりに、4月には116名の新入生を迎え入れ、全校370名でスタートを切りました。生徒数は少ないながらも、生徒たちは大東高校の校訓である「誠実・勤勉・高邁」の精神を受け継ぎ、礼儀正しくきちんとした学校生活を送っており、地域の方にも愛されている学校であるというふうに自負致しております。

本校は従来より「文武両道」を教育活動の中核に据えています。本年度は更にその質を向上させることを学校目標のひとつに掲げております。その成果としての進路や部活動実績につきましては、後掲しておりますのでご覧ください。

私が常々生徒たちに話しておりますのは、攻めること（自主性・積極性）の大切さです。当然のことながら、攻めることは守ることよりもリスクが大きいわけですが、たとえ失敗したとしても、自らが積極的に攻めたうえでの失敗ならば、原因や課題が浮き彫りになり次のステップにつながります。先生方にも、授業やクラス、部活動という集団の中で、文武両面において鍛え、攻めることのできる生徒、失敗を恐れない生徒、失敗を活かせる生徒、すなわち逞しい生徒を育ててほしいとお願いしています。

前出の野球部の闘いでも、甲子園出場こそ逃したものの心技体にわたって選手たちは終始攻め続けてくれました。更に、夏季休暇中には「東日本大震災島根災害ボランティア隊」をはじめ、9つのボランティアに延べ64名の生徒が参加します。様々な場面で生徒たちが攻めの姿勢を貫いてくれることを大変頼もしく感じています。

以上野球部や学校の現状をご紹介しましたが、今年3月の卒業生を加え八雲会の会員数は13,074名となりました。4年後の創立100周年に向けてのカウントダウンも始まっております。これからも皆様方の志をしっかりと受け継ぎ、「高邁な目標に向け、誠実な心と、勤勉な態度で努力する」そんな大東高校生を育てて参りたいと考えておりますので、今後とも母校に対するご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成26年度 八雲会総会

平成26年度の八雲会総会を7月12日(土)に、61名の出席のもと大東地域交流センター研修室において開催しました。昨年度同様茶道部によるお手前披露と吹奏楽部による演奏が披露されました。今年度は役員改選の年に当たりましたので、25年度分は景山純孝会長、26年度分は安原重隆新会長をそれぞれ議長として会を進めました。会の最後に、退任されることになりました景山純孝様に長い間のご労苦に対して記念品を贈呈しました。また、今後は顧問として八雲会のためにご指導頂くこととなりました。

総会は毎年7月の第2土曜日に開催することになっています。来年度さらに多くの方に出席していただけることを願っています。



関東支部会

(関東支部支部長 鏑木 茂雄)

今年度の八雲会関東支部会が6月28日に「アリスアクアガーデン丸の内店」で開催されました。母校から奥井校長、門脇先生、八雲会本部から景山会長を迎え、総勢15名の参加で行われました。

景山会長のご挨拶、奥井校長から大東高校の近況報告が行われ、高校野球鳥根県大会の展望などをお聞きし、その後懇親会に入りました。懇親会では参加者の近況報告、大東高校の卒業生である福島県石川町長 加納武夫氏との交流の話題もあり、和やかな会となりました。

新役員による最初の支部会でしたが、都合がつかない方が思いのほか多かったことから参加者数が少なく、少し残念なスタートとなりました。そうした中、初めての参加、久々の参加もあった事が喜ばしく、そういう会員を一人でも増やしていこうと役員一同、心を新たにしました次第です。

関東支部会で奥井校長がお話された高校野球鳥根県大会の展望通りの大活躍に心を躍らせた会員も多かったと思います。準決勝は全校生徒による応援と伺いましたが、試合内容も、一体となった応援もさぞや盛り上がったのでしょうか。うらやましく思います。以下は野球部の活躍に元気ももらった関東支部の会員の方からいただいたメールの抜粋です。

「今日の大東高校の開星との試合、12対11で惜しくも破れ、明日の決勝進出はなりませんでした。が、素晴らしい試合でしたね。映像を見ることは

できませんでしたが、会社のオフィスで速報を随時見てガンバレ、ガンバレと応援していました。

－ 中略 －

21世紀枠の話題があったときは、ここまで強くなっているとは知らず鳥根の田舎町ということで候補になったのかなーくらいの感じでした。ですが、春季大会で準優勝し、夏の予選でも順調に勝ち上がり今日の強豪開星戦は五角の戦いでした。

－ 中略 －

ローカルな生徒が殆どの県立大東高校がこんなに強くなるなんて……本当に素晴らしかったです。母校の誇りで嬉しかった。近い将来に大東高校野球部が甲子園の土を踏むことを信じています。」

最後に関東支部のfacebookを作りましたので「いいね」してください！

又、関東エリアの皆様、来年の支部会には是非ご参加ください。宜しくお願いします。



関西支部会

(関西支部 高橋 潮)

大阪に珍しく降った大雪の日、2月8日、関西支部会を実施した。11時からの開催であったが、本部役員の皆様は、雪の伯備線で「やくも」にハマり延着の連絡あり。見切り発車をし、「支部会運営・活動」を中心にして会議に入った。

今回は、会員38名の参加であったが、年齢構成では、69歳以上で84%を占め、若い会員にはソッポを向かれている感が強かった。そこで、中心テーマは「若い人にも参加できる集いとは」にして議論をすすめた。約1時間、ざっくばらんに意見を出してもらった。「私ら、同期4～5人だが毎年楽しみにして参加し旧交を温めている」というように、この会を上手く利用する積極派の意見。反面、「今回一緒に行く人がいなかったので欠席する。今後同期の人達と会える時は出席したい」との欠席者の回答のように、参加したいけど一人ぼっちでは面白くないと言う心配派。共通するのは、勉・遊を共にした級友に会えてこそ「八雲会」のようだ。その方策の一つとして、「同期生のまとめ役を務めるリーダーを指名し、クラスごとの参加を促すこと」の意見は、現実的で直ぐ取り組む課題である。

その他、「クラブ活動で苦楽を共にした同志との会話も楽しい」「俺たちの時代と違い今は世知辛い世の

中になり、若い世代には出にくくなっているのではないか」「あまり気にしないで、こうした会合を設営し、出られる人は参加すればいいではないの」また「子育て中の会員は参加しにくい」に対し「幼児コーナーを設けたら」などユニークな意見も出された。

12時からは、懇親会に入り、一杯遣りながら、食べながらの賑やかな懇談になった。

2時間遅れの13時過ぎに、会長・学校代表・幹事長がお見えになり、やっと全員が揃い、「次第」に沿い、会長挨拶・大東高校の現状報告などをしていただいた。あとは、いつものとおり校歌・応援歌の斉唱、クラブ活動の思い出話などの発表……。最後に出席者で一番若い45期の瀧京（タキミヤコ）さんの万歳三唱で会を閉めた。



広島支部会

(広島支部事務局長 佐藤 眞)

八雲会広島支部は、平成26年度の総会を7月19日八雲会本部から景山源栄副会長、奥井副会長（大東高等学校校長）及び門脇幹事（大東高等学校教諭）をお迎えし、広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。

当日は広島市及びその近郊から会員20名が出席し、佐藤眞事務局長の司会で総会は始まり、佐藤和紀支部長から開会にあたり「本日皆さんには、暑いところ元気で出席頂き嬉しく思うと同時に感謝申し上げます。出席者はやや固定化してきている感があるが、今日は、久々に出席される方と、初めて出席される方もいらっしゃって喜ばしい状況であると思う。更にこの状況が好転するよう皆様にはより一層の協力頂く様お願い申し上げます。」との挨拶がありました。

また大東高校出身のプロ野球選手の福山君のオールスターゲームでの活躍状況もお話しされ、一気に会場が和やかな空気に包まれました。

続いて景山副会長のご挨拶、奥井彰校長先生からは大東高校学校の近況報告があり、景山副会長のご挨拶では、八雲会の本部役員の交代があり景山純孝会長がご退任なされたこと、また年々生徒が減少する中で、今後の八雲会の運営状況についてお話がありました。

副会長奥井校長先生からは、進路状況や部活動報告があり、「特に野球部は、部員も46名の大所帯となり、いま県大会で甲子園目指して頑張っているが年々強くなってきておりこの2～3年で甲子園出場も夢ではない。また大東高校の校訓である『誠実』『勤勉』『高邁』の精神を受け継ぎ、礼儀正しく、挨拶もきちっとでき、地域の皆様に愛されている学校です。」と近況報告がありました。

支部会計の報告の後、毎年お元気で出席頂いている富久顧問の乾杯の音頭で懇親会に入り、久しぶりの出合いで賑やかに会話が済み、お互いの近況を確かめ合いました。

カラオケ、校歌、応援歌、壮行歌が歌われるなか、瞬く間に時間は過ぎ、司会者の二次会の案内で17期



の黒川陽右さんが、「来年はこの会の出席者をぜひ倍にしましょう。そして必ずお会いしましょう」と再会を約束し力強く中締めしました。大多数の方に

同ホテルでの二次会に参加頂き、皆さんカラオケを歌い、自慢ののどを披露し、賑やかで和やかな雰囲気なかで支部総会が終わりました。

松江支部会

松江支部(松江市在住の卒業生)の皆さん 総会・懇親会で待っています

松江支部の現況は平成26年現在、支部会員数は640名余り。大所帯であるにもかかわらず、支部活動及び運営はお世辞にも活発とは言えない状態です。平成24年に、松江支部活性化の一案として会員への意識調査のためアンケートを実施しましたが、結果はあまり芳しくありませんでした。

今年7月6日(日)、サンラポーむらくもで開催した総会で、役員改選と会則の一部改正に併せ、支部総会への出席者拡大、役員の若返り等と呼びかけました。今後の支部運営面で、特に30期～40期(昭和53年卒から平成9年卒)年代の方々へのアプローチが課題となっています。

そのほか打つべき対策として、①IN等WEBや新聞ミニコミ欄からの情報発信。②総会参加者みんなで“口コミ”で参画年代層を広げる努力をする。これらについて、役員を中心として具体的行動を起こせるよう、方向付けをしていきたいと考えています。特に②については、各期の同窓会開催の情報などお寄せいただければ、その場での松江支部の存在と活動参画への協力依頼といった働きかけができると考えています。

松江在住の卒業生の皆さん、情報・お問い合わせをお待ちしております。(H. I記)

【連絡先】松江支部事務担当

〒690-0133 松江市東長江町902-59

(株)谷口印刷内 岩橋まで

TEL(編)0852-36-5888・FAX 0852-36-5889

(岩橋直通 mail:vodka@tprint.co.jp)



阿用支部会

八雲会阿用支部は、景山源栄(かげやまもとよし)会長以下140名の会員で活動しています。

組織体制は会長1名、副会長2名、理事4名、幹事3名が執行部で、各自治会に一人ずつの代議員が合計15名いる外、監事を2名設けています。

支部会費は年額500円とし、各自治会の代議員が自治会内の会員の会費の徴収と、部活動後援会推進員として後援会費の徴収も行っています。部活動後援会費は一戸1,000円を基本としており、約120戸から納入いただいています。

活動の内容としては、年一回の総会、本会総会への参加、グループ懇親会などです。グループ懇親会は自治会単位の会や、女学校OBでの会などですが、女性の会が活発で、男性の会も行ってもらいたいと考えているところです。以前は研修を兼ねて町外に出かけて、懇親会をおこなったりしていましたが、近年はなかなか実行できていません。執行部では何か支部独自の活動を実施できるよう検討しているところです。

他に特徴的なこととして、一昨年までは支部会員の名簿を作成していませんでしたが、会費を納めて

いただいている会員さんの名前ぐらひは、きちんと把握して今後の活動に生かすという意味で、25年度に会員名簿を整備しました。

八雲会阿用支部は卒業生であっても、加入については任意ですが、今後出来るだけ会員数を増やし、積極的に大東高校に関わり、大東高校をバックアップしていきたいと考えています。



夏の蓮花寺



おりべ5期の会「傘寿の会Part II」

高校第5期卒業生の同窓会、愛称「おりべ5期の会」（代表 蓮岡法暲）は6月16日17日、海潮温泉・海潮荘で「傘寿の会PART II」を、全会員88名中26名が参加し開催しました。昨年の昭和9年生まれの傘寿の会に続く、今年は昭和10年生まれの傘寿のお祝いです。

開会に先立ち、物故会員24名に黙祷。次いで広島市から参加の狩野彰彦君、山本あさかさんの発声で乾杯、佐々木省二君（松江市）の司会のもと楽しい同窓会がスタートしました。

会の締めは同郷（加茂町）の幼馴染、嘉本静穂君（守山市）、荒木君代さん（下松市）の発声でバンザイ三唱。次いで入江早苗さん（松江市）、荻野晶子さん（松江市）のリードで、この会の定番、「校歌」と「星影のワルツ」を大合唱し（写真）、次回の再会を約して楽しい同窓会を終えました。

終宴後は小河内方面への赤川ホテル狩り。幸い気象条件も良く、久々に見る赤川ホテルの乱舞に、皆が童心に帰って歓声を上げていました。

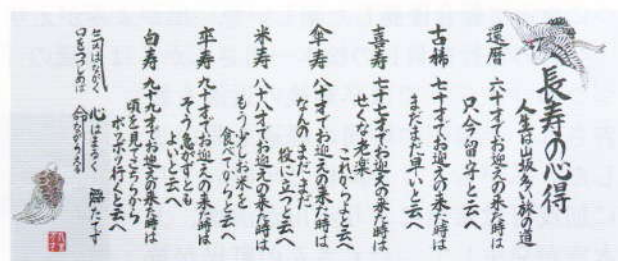


32会「卒業57周年・喜寿の会」

高校第9期卒業生の同窓会「32会」（代表、荒木幸雄）は、5月18日～19日、玉造温泉、保性館で、会員39名中15名が参加して「卒業57周年・喜寿の会」を開催しました。最初は懐かしい母校へ集合して当時を偲び、続いて織部の地に眠っておられる恩師、故鏑木哲雄先生、学友の故遠藤安治君の墓参りをし、ご冥福をお祈りしました。そして加多神社に参詣し、安全祈願をしていただきました。加多神社は、82段の石段と広い境内の鎮守の杜があり、体育系の部活を行った者にとっては、絶好の試練の場所として、当時のことが蘇りました。

喜寿の会は冒頭、物故者、恩師2名と学友6名に黙祷、次いで兵庫県より帰省した広木辰夫君の発声で乾杯、藤原善己君（雲南市）の司会進行で、同窓会が始まりました。そして各自の近況等のスピーチに続き、安部貞夫君（雲南市）の詩吟「四海波」の祝賀の謡いが会場に響き渡りました。また「校歌」の斉唱と「ふるさと」を森脇良子さん（松江市）の指揮、荒木貞治君（雲南市）のハーモニカ伴奏で合唱し、生まれ育ったふるさとのこと、高校時代の思い出を共有出来たことを喜び合いました。

会のお開きは、細貝俊治君（岡山市）と鯉淵春枝さん（東京都）による1本締めで会を閉じました。これから先は「長寿の心得」の気構えで人生を歩み、次は傘寿の会で再会することに致しました。



「後期高齢者」入りの同窓会



第10期卒業生と言えば、今年75歳。本格的な高齢者に仲間入りする友が大半を占める。その元気さ？をアピールする意味を含め、有馬温泉で同窓会を開催した。関西地区に住む者が世話役を引き受け5月の佳き日に実施、全国から友が駆けつけた。地元島根からは貸切バスでの参加。夜は、5時間に及ぶ懇親会。さすがに酒の量は減ったが、口数は減らずますます達者で、座を盛り上げた。(S33卒 高橋 潮)

48年ぶりの同窓会

新緑の山々も美しく、風薫る5月17日、田植えの終わった田んぼが続く国道54号線を一路雲南市の入間へ向かいました。目指すは入間交流センターです。

大東高等学校第18期、3年1組の同窓クラス会が初めて開催されました。高校を卒業して48年、18歳から66歳へと歳を重ねた友の顔がわかるだろうかと不安は、出会ってすぐに吹き飛びました。現地集合で三々五々集まってくる同級生の顔はなつかしさに溢れ、みんな笑顔で入ってきます。私たちは56人のクラスメートと学びましたが早や3人の友が亡くなっていました。このクラス会には全国から26人が集まりました。入間交流センターは、閉校した旧入間小学校の木造校舎を活かして再生させた施設です。懐かしい大東高校の学び舎を思い起こしながら玄関前で撮った記念写真。なんとその立ち位置も卒業写真と同じです。

担任だった錦織義夫先生はご病気のため入院中とのことでお顔を見ることはできませんでしたが、物理を習った鰐木篤先生、数学を習った尾添昭三先生、恩師お二人をお迎えすることができました。教わった50年前より髪はロマングレーにかわっていましたが、当時と全く変わらない両先生にお会いできたのは嬉しい限りでした。バレーボールやテニス部の顧問だった先生方にしっかり技術指導していただきたらうに、そんなことよりもアイスクリームをおごっていただいたことやキャンプに同行してもらったことなど楽しかった思い出に話は盛り上がりしました。当時新卒で若かった尾添先生は実家に寄り、親御さんからお金を調達してキャンプに同行したと暴露され、皆大笑いでした。

雲南市の教育長として頑張っている土江博昭さんが準備されたスライドショーで、体育祭のデコレーションや応援の様子が写され、村上昭雄さんの製図をもとに作成したミッキーマウス、チームが一つになって総合優勝した楽しい思い出がよみがえりました。

今回の実行委員長松本一男さんからは自蔵の「出雲千代鶴」も準備されて、宴もたけなわ、一人づつのコメントでは卒業後の近況も報告され、半世紀の時間の経過を思い出しました。私がちょうど高校2年時の7月に加茂町は豪雨により赤川が決壊、大水害が発生して、たくさんの町民が被災しました。我が家も家屋全壊となりました。夜中でしたが、暗い中、ひざ近くまでの水に足をとられながら避難したことや、仮設住宅での生活、自動車も不通だったため加茂から高校までジャリ道を自転車通学したことなど今で



もしっかり記憶に残っています。またすべて流出したため、教科書をはじめ高校からも多くの支援を受けました。皆と当時を語りながら、多くの方々に助けていただいて今まで歩んできたのだと、改めてわが人生を振り返り、感謝の気持ちでいっぱいでした。懇親会もあつと言う間の3時間がすぎ、参加者からは今度は3年後にとか、早くも次回を心待ちにする声がしきりに出ていました。この会場での食事はすべて、地元入間の女性グループの手づくりで、春の山菜を使った料理が並び、てんぷらや煮しめなど食べきれないほどの御馳走に大満足でした。その後、夜遅くまで語り明かした後、教室だった部屋に男女それぞれが、全員で枕を並べました。なんだか修学旅行に行った気分です。

翌日、別れがたい友が誘い合い、大勢で、川村千里さんの「かわむら牧場」を三瓶山麓に訪ねました。なんと百頭近い牛を飼育しているのです。牛舎のほかに西の原でも放牧していて、彼女が「こーいこい、こーいこい」と呼びかけると、あの草原のあちこちから寄ってくる牛たちにびっくり。20数頭の牛が一行に行進してやってくるのです。昔から元気活発な彼女でしたが、出会いがあつてご夫婦での肉用牛農家。研究熱心な姿勢に素晴らしい人生の歩み方を教わりました。まだまだ話は尽きませんでしたが、「三瓶そば」の昼食を食べてお別れしました。遠く埼玉県から参加した常松繁さんなどは、「来年開催されればまた帰ってくる」のだそうです。今回欠席だった同級生の中には闘病中の方もあつとか、健康で再会できる機会があることを誓い合いました。 (安田 和加子)

頂き物の披露

❖ 福島県石川町町長加納武夫様（高8期卒業生）より昨年の文化祭での講演後に頂きましたご厚志により、校訓を生徒昇降口に掲げました。毎日見ることにより大東高校生としての自覚を高めて欲しいと思います。ありがとうございました。

誠実 勤勉 高邁

❖ 高46期卒業生一同様より10万円、高16期3年3組卒業50周年同窓生一同様より3万2千円のご寄付をそれぞれ頂きました。頂きましたご寄付は部活動後援会に入れ、大東高校部活動の振興を図るため活用させていただきます。ありがとうございました。

ごあいさつ

教頭 飯塚 裕司

八雲会の皆様、こんにちは。昨年度末の人事異動で児玉諭前教頭の後任として石見養護学校から着任しました飯塚裕司と申します。皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本校は昨年度から雲南市と連携して、「地域でつなぐキャリア教育モデル事業」に取り組んでいます。幼小中学校などの異校種や地域でのボランティア活動など、学校と地域が協働することをおして生徒のキャリア発達を支援しています。

そういった中、先日家族で安来市の足立美術館を観覧した時、河合寛次郎の次のことばに出会いました。以下引用します。

この世は自分をさがしに来たところ
 この世は自分を見に来たところ
 どんな自分が見付かるか
 どこかに自分があるのだ —— 出て歩く
 新しい自分が見たいのだ —— 仕事する
 仕事が見付けた自分
 自分をさがしている仕事 [いのちの窓]より

まさに、私たちの毎日の生きる営みにおいて、仕事を通してその仕事をしている自分がどのような意味をもつのだろうか、そしてその自分の意味を自分自身が創りだすものなのだろうと思案しました。

最後に。今後もキャリア教育等とおして大東高校生徒の教育に教職員一丸となって頑張っていきます。応援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

八雲会 平成25年度事業報告と 平成26年度事業計画

平成25年度 事業報告

平成25年

- 4月30日(火) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月16日(木) 監査会 (H24年度決算)
- 5月16日(木) 役員会 (決算、予算、事業、総会)
- 6月 8日 関東支部会 (会長・校長・高橋)
- 6月23日(日) 佐世支部会
- 7月 2日(火) 第2回校内幹事会 (総会)
- 7月 2日(火) 大東支部会 (高橋)
- 7月13日(土) 八雲会総会

大東高校 部活動 披露
茶道部によるお手前
吹奏楽部による演奏

- 7月20日(土) 広島支部会
(会長・校長・森山)
- 9月 会報「八雲」第50号発行
- 11月16日(土) 春殖支部会
- 11月29日(金) 阿用支部会
- 12月 3日(火) 海潮支部会

平成26年

- 1月19日(日) 久野支部会
- 1月31日(金) 加茂支部会
- 2月 8日(土) 関西支部会
(会長・教頭・高橋)
- 2月17日(月) 第3回校内幹事会 (入会式)
- 2月28日(金) 第66期八雲会入会式
- 3月15日(土) 幡屋支部会

平成26年度 事業計画

平成26年

- 4月 7日(月) 大東支部臨時総会 (森山)
- 5月 1日(木) 監査会 (H25年度決算)
- 5月 2日(金) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月16日(金) 役員会
(決算、予算、事業、総会、役員改選)
- 6月28日(土) 関東支部会 (会長・校長・門脇)
- 7月 1日(火) 第2回校内幹事会 (総会)
- 7月 6日(土) 松江支部会 (会長・校長・森山)
- 7月12日(土) 八雲会総会

大東高校 部活動 披露
茶道部によるお手前
吹奏楽部による演奏

- 7月19日(土) 広島支部会
(景山副会長・校長・門脇)
- 7月25日(金) 阿用支部会 (森山)
- 9月 会報「八雲」第51号発行
- 月 日() 春殖支部会
- 月 日() 海潮支部会
- 月 日() 加茂支部会
- 月 日() 宍道支部会
- 月 日() 木次支部会
- 月 日() 塩田支部会
- 月 日() 佐世支部会
- 月 日() 幡屋支部会
- 月 日() 久野支部会
- 月 日() 大東支部会

平成27年

- 2月23日(月) 第3回校内幹事会(入会式)
- 3月 2日(月) 第67期八雲会入会式
- 3月中旬 関西支部会

平成25年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	1,116,000	1,061,100	▲ 54,900	年額3000円×349名=1,047,000円等
繰越金	1,169,745	1,169,745	0	前年度繰越金
雑収入	255	164	▲ 91	預金利息
合計	2,286,000	2,231,009	▲ 54,991	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	840,000	482,625	▲ 357,375	
会議費	400,000	132,050	▲ 267,950	役員会、総会費
旅費	300,000	281,720	▲ 18,280	支部会出席旅費(関東、関西、広島)
通信費	40,000	15,095	▲ 24,905	郵券等
事務費	20,000	0	▲ 20,000	
管理費	80,000	53,760	▲ 26,240	会員登録、データ管理
事業費	1,320,000	1,020,095	▲ 299,905	
八雲発行費	670,000	506,195	▲ 163,805	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	480,000	▲ 120,000	関東、関西、広島、大東、佐世、幡屋、阿用、春殖、久野、海潮、加茂支部
入会式	50,000	33,900	▲ 16,100	入会記念品(卒業筒)
雑費	100,000	32,931	▲ 67,069	記念品料等
予備費	26,000	0	▲ 26,000	
合計	2,286,000	1,535,651	▲ 750,349	

特別会計(積立)決算書

平成24年度末残高 6,237,581円
 平成25年度利息 992円
 平成25年度末残高 6,238,573円

(収入総額)2,231,009円-(支出総額)1,535,651円=(差引残額)695,358円…平成26年度へ繰越

平成26年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	1,107,000	1,116,000	▲ 9,000	年額3,000円×369名=1,107,000
繰越金	695,358	1,169,745	▲ 474,387	前年度繰越金
寄付金	10,000	0	10,000	八雲会会員より
雑収入	642	255	387	預金利息
合計	1,813,000	2,286,000	▲ 473,000	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	630,000	840,000	▲ 210,000	
会議費	280,000	400,000	▲ 120,000	役員会、総会費
旅費	250,000	300,000	▲ 50,000	支部会出席等旅費
通信費	20,000	40,000	▲ 20,000	郵券等
事務費	10,000	20,000	▲ 10,000	事務用品代等
管理費	70,000	80,000	▲ 10,000	会員登録、データ管理等
事業費	1,143,000	1,320,000	▲ 177,000	
八雲発行費	500,000	670,000	▲ 170,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田支部
入会式	43,000	50,000	▲ 7,000	入会記念品
雑費	30,000	100,000	▲ 70,000	慶弔費等
予備費	10,000	26,000	▲ 16,000	
合計	1,813,000	2,286,000	▲ 473,000	

特別会計(積立)決算書

平成25年度末残高 6,238,573円
 平成26年度利息 427円
 平成26年度末残高見込額 6,239,000円

平成26年度～27年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上朋良	高3	副会長	太田多美子	高13	監事	岩田松子	高7
	角谷雄輔	高7		金築暎次	高14		増田敏男	高10
	景山純孝	高9		景山源榮	高15		狩野健吉	高18
会長	安原重隆	高11		奥井彰	校長			

【理事】

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期
大東	蘆田道昭	高16	久野	堀江善彦	高23	木次	佐藤弘之	高23
	森脇誠夫	高10		長沢正也	高26	穴道	渡部清美	高27
	光谷由紀子	高18		長妻賢二	高32	松江	細木勝美	高18
	青木愛治	高18	塩田	黒川弘義	高18		八幡憲次	高19
	糸川栄一	高19	佐世	錦織涿郎	高14	広島	佐藤和紀	高12
	安部幸治	高24		錦織一夫	高17		富久禮識	高6
春殖	横山美昭	高20	幡屋	森山武史	高25	関西	広木益夫	高16
	木村晋吾	高27		山崎英志	高29		関東	鐔木茂雄
海潮	安達茂	高13	加茂	金築暎次	高14	関東		持田啓司
	塩野紀富	高9		梶谷久光	高6			
	木村昭憲	高17		岸本邦夫	高19			
阿用	景山源榮	高15		斉藤雅孝	高28			
	永瀬康典	高18		畑宏明	高29			
	外谷文子	高20		加納忠夫	高31			
	矢壁正弘	高28		高橋雄二	高32			

【代議員】

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期		
大東	狩野泰秀	高20	塩田	安達隆亜	高42	関西	高橋潮	高10		
	小山益男	高20		佐世	安部博	高18	関東	佐藤博芳	高32	
	石川辰子	高23	高橋敬二		高22	【八雲会支部長】				
	狩野恵子	高24	郷原辰雄		高22				大東支部	蘆田道昭
	山本司	高32	山崎達夫	高24	幡屋支部				森山武	道武
糸原優二	高33	舟木忠夫	高24	海潮支部	安達茂				茂	
田中久志	高33	田中互	高37	阿用支部	景山源				源榮	
春殖	新田昭隆	高15	幡屋	竹村治美	高17	佐世支部	錦織涿	郎		
	岩田和義	高19		加茂	錦織直行	高19	春殖支部	横山美	昭彦	
	福間広明	高20		加茂	吉岡敏隆	高27	久野支部	堀江善	彦	
	宮川稔	高27	木次			塩田支部	黒川弘	義次		
海潮	陶山隆之	高17	穴道	佐藤和彦	高32	加茂支部	金築暎	次		
	木色薫	高20		松江	岩橋弘政	高18	木次支部	佐藤弘	之	
	安井修	高25	松江	勝部修	高19	穴道支部	渡部清	美		
阿用	上代英治	高29	広島	佐藤眞	高17	松江支部	細木勝	美		
	三澤郁穂	高35		三島暁子	高17	広島支部	佐藤和	紀		
久野						関西支部	広木益	夫		
						関東支部	鐔木茂	雄		

大東高等学校事務局

TEL(0854)43-2511 FAX(0854)43-2512

事務局長 飯塚 裕司 (教頭)	幹事長 森山 智 高32	幹事 門脇 康文 高39
幹事 大給 茂樹 (事務長)	幹事 成相 智志 高33	幹事 小山美紀子

よろしくお願ひします。

第52回 島根県高校総体

★陸上 5/30～6/1 松江市営陸上競技場

(男子) 3000m障害物

決勝 桑原 徹7位 (記録10'14"42)

走幅跳 決勝 鳥谷泰佑9位 (記録6m12)

5000m 決勝 桑原 徹13位 (記録16'36"30)

(女子) 砲丸投 決勝 渡部瑠美10位 (記録7m82)

★サッカー 5/30～6/1 県立サッカー場ほか

2回戦 大東0 - 3松江商

★男子バレー H26/6/5～7 島根県立体育館 (浜田)

2回戦 大東2 - 0出雲

準々決勝 大東1 - 2松江高専

★女子バレー H26/6/5～7 浜田高校体育館

2回戦 大東1 - 2出雲西

★剣道男子 H26/6/6～7 松江市総合体育館

団体1回戦 大東3 - 1情報科学

団体2回戦 大東0 - 3大社

★卓球男子 H26/5/30～6/1 カミアリーナ

団体1回戦 大東0 - 3松江北

★卓球女子 H26/5/30～6/1 カミアリーナ

団体1回戦 大東0 - 3津和野

★ソフトテニス男子 6/5～7 松江市営運動公園庭球場

団体戦 大東0 - 3石見智翠館

★ソフトテニス女子 6/5～7 松江市営運動公園庭球場

団体戦 大東0 - 3松江南

★バドミントン男子 H26/6/5～7 鹿島総合体育館

団体1回戦 大東3 - 1邇摩

団体2回戦 大東0 - 3松江北

★バドミントン女子 H26/6/5～7 鹿島総合体育館

団体1回戦 大東3 - 0松江西

団体2回戦 大東0 - 3松江商

★空手道男子 H26/6/6～7 松江南高校体育館

団体形 大東0 - 7松江南

団体組手 大東1 - 4松江南

個人形 高木太一 ベスト8

個人組手 藤原奨汰朗、景山一志、

宍道 亘 ベスト8

★空手道女子 H26/6/6～7 松江南高校体育館

団体形 大東0 - 5松江南

団体組手 大東0 - 3松徳学院

個人組手 八幡垣仁美、高橋智沙、

岡田明日香 ベスト8

★バスケット男子 H26/6/5～7 カミアリーナ

1回戦 大東46 - 82浜田

★ソフト女子 H26/6/7～8 出雲高校

2回戦 大東3 - 4三刀屋



■野球部

第96回全国高等学校野球選手権大会

(松江・浜山)

2回戦 大東9 - 隠岐3

3回戦 大東15 - 明誠0

準々決勝 大東6 - 島根中央0

準決勝 大東11 - 開星12

■吹奏楽部

第55回全日本吹奏楽コンクール島根県大会

(出雲市民会館)

高等学校Aの部 銀賞

■囲碁・将棋

平成26年度第38回全国高等学校総合文化祭

将棋部門 将棋選手権大会 島根県予選

(バルメイト出雲)

男子個人戦 柳原一輝 2回戦敗退

■写真 春季写真コンクール (松江南高校)

特選 池尻万耶 和久利水青子

板持和美 長谷川柚香

寄付金のお願

八雲会会長 安原重隆

八雲会の経費は、会則により、入会金・寄付金・その他をもってあてられています。実際には在校期間中に納めてもらう入会金（年額3000円）によって運営しております。しかしながら、少子化の影響もあり生徒数は年々減少し、収入も減少してきております。今後さらに減少していくことも予測される中、現在の収入状況では八雲会の活動に支障をきたすようになってきました。このようなことから、同窓会会員相互の親睦を深めていくため、さらには大東高校を支援する活動のため、このたび卒業生の皆様によるご寄付をお願いすることにしました。

現在、八雲会の会員は全国で約1万3000名となり、各地で活躍しておられます。地元雲南市や松江市、また県外では関東、関西、広島にそれぞれ支部会があり、活発に活動が行われるようになっております。今後さらに本会の活動を充実、発展させていきたいと考えております。厳しい経済環境にありますが、皆様のご理解をいただき、なにとぞご支援いただきますようお願いいたします。

ぜひご賛同いただき、下記によりお振り込みをお願いいたします。

振込方法

- ◆ 寄付金額：一口1,000円（一口以上）
※専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。

- ◆ 振込先：ゆうちょ銀行
(振込手数料はかかりません)

口座記号番号 01390-5-103127
口座名称 八雲会

- ※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。
振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九（イチサンキュウ）店(139)
預金種目 当座
口座番号 0103127

- ◆ その他
 - ・卒業生のお名前で（ご家族の方等が振り込まれる場合でも）お振り込みください。
 - ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
 - ・振込期限はありません。（随時受付をしています）

平成25年度 3年生進路状況

(平成26年3月卒業)

(1) 進路概要 (過去3年間)

	H23年度	H24年度	H25年度
進学	125	113	84
就職	19	21	19
進学準備	1	6	9
合計	145	140	112

(2) 進学状況

() 内は過年度卒・内数

	合格者数	進学者数
国公立4年制大学	22(4)	20(3)
私立4年制大学	31(4)	21(2)
公立短期大学	4	4
私立短期大学	10	10
医療系専門学校	20	16
その他の専門学校	18	18

(3) 就職状況

	県内	県外	合計
事務	0	0	0
営業販売	5	0	5
技能職	11	1	12
公務員・公的団体	1	1	2
合計	17	2	19

編集 後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。これからも各地で行われる支部会や、同窓会などの情報、各方面で活躍中の皆様の紹介記事などを載せネットワークを広げていきたいと思っています。皆様からの情報、寄稿をお待ちしています。

大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512
E-mail: daito-hs@edu.pref.shimane.jp
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>
☆☆大東高校公式Face bookもご覧ください☆☆